

全千私幼 会報

(題 字)
元会長 故 山 本 恭 雄



発行所
一般社団法人
全千葉県私立幼稚園連合会
〒260-0028
千葉市中央区新町18番地10
(千葉第一生命ビルディング8階)
☎ 043(242)5791
発行者 風間 一郎
編集者 広報委員会

ごあいさつ



会長 風間 一郎

この度、会長として再度選出をしていただきました。

千葉県内でも、私学助成から新制度園へ移行された園が過半数を超えてきました。また3歳未満児の保育に取り組まれている園も増えています。少子化も止まらない状況の中、幼稚園を取り巻く状況は

ますます厳しく、難しくなっていると感じています。

連合会は、加盟園の皆様の手助けになる保育運営に関することについて、たくさんの有益な情報を発信していくことが必要と思っています。

常任理事や常置委員を引き受けてくださった先生たちと共に、千葉県の私立幼稚園・こども園の為に精一杯尽力する所存ですので、皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。



副会長 山口恵理子

加速する少子化や子育て事情の変化など、幼稚園・こども園を取り巻く環境が著しく厳しい今日だからこそ団体としての繋がりや情報の共有が非常に重要になると考えます。連合会加盟園の皆様と共に幼児教育の振興と発展に尽力して参りますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

未来を生きる子どもたちの笑顔がいつも輝いていられるよう、今できる事を一つひとつ行いたいと思います。



副会長 鈴木 教義

このたび、副会長と子ども子育て支援新制度委員長を拝命いたしました。少子化が進み、私たちの園経営は厳しさを増しています。困難な時代だからこそ、私立幼稚園ならではの幼児教育の価値を社会に伝え、地域の中で選ばれる私立幼稚園として、その存在価値を高めることのできる取り組みをしっかりと考えていきたいと思ひます。微力ではございますが、今後ともご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



副会長 緑谷 一樹

このたび副会長を拝命しました緑谷です。微力ながら加盟園各位のお役に立てればと思いますので、よろしくお願いします。

自園は市川市中山で1954年に祖父が宗教法人付属として設立しました。その後、学校法人化を経て施設型給付園となり、小規模保育所を併設し、子育て支援センターの委託を受け運営しております。加盟園内でも施設類型は様々ですが、幼児教育を中心とした各施設各教員の繁栄を目指して参ります。



副会長 平野 貴

このたび、副会長を拝命いたしました。微力ではございますが、これまでの経験を活かし、会員園の皆さまとともに連合会をさらに盛り上げてまいりたいと考えております。また、円滑な会の運営に努めるとともに、加盟園の皆さまにとって実り多い研修会の企画・運営にも力を注いでまいります。さらに、日々の保育課題や園運営に役立つ情報を研究し、加盟園の皆さまのお力になれるよう努めてまいります。よろしくお願いいたします。



副会長 宮田 元

このたび、一般社団法人全千葉県私立幼稚園連合会の副会長を拝命いたしました。

先輩方が築いてこられた連合会の歴史と土台を大切に受け継ぎながら、その発展に努めてまいります。

私学助成・新制度の違いに関わらず、すべての加盟園に対して平等・公平な視点を持ち、それぞれの園が抱える課題や思いに寄り添いながら活動してまいります。そして、「連合会に加盟して良かった」と感じていただける組織づくりを目指し、加盟園の皆様とともに歩んでまいります。ご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和8年度 千葉県総務部学事課長あいさつ

千葉県総務部学事課長
武田 裕行

本年4月に学事課長に就任しました武田でございます。よろしくお

願いいたします。

一般社団法人全千葉県私立幼稚園連合会の皆様には、日頃から本県の幼児教育の振興に多大なる御尽力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものです。私立幼稚園の建学の精神に基づく豊かな学びと経験は、子どもたちの非認知能力など生きる力を育み、将来に多くの影響を与えるものと考えております。

これまで県では、経常費補助金の園児一人当たりの補助単価を増額してきたほか、私立幼稚園の教職員の処遇改善に力を入れてまいりました。

昨年度は、将来の幼稚園教諭の担い手確保に繋げるため、「保育体験等の受入れ事業」として、私立幼稚園が小中高校生の保育体験学習を受け入れる場合に助成

を開始しました。

また、今年度から、LED照明の導入経費について小中高校だけでなく私立幼稚園も補助対象とするほか、「幼稚園学びのスタート推進事業」として、英語教育や数理教育などの質の高い教育を推進するために必要な経費への助成を開始するなど、私立幼稚園における良質な教育環境の実現と幼児教育の一層の充実に不断の努力を重ねております。

少子化の進行や、子ども・子育て支援新制度による私立幼稚園の運営の多様化、いわゆるこども性暴力防止法の施行予定など、私立幼稚園を取り巻く環境は常に変化を続けています。

県といたしましては、次代の担い手である子どもたちが、様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓いていけるように、これからも私立学校の振興と幼児教育の充実に努めてまいります。

私立幼稚園の皆様におかれましては、引き続き、本県の幼児教育の振興に御尽力いただきますようお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人全千葉県私立幼稚園連合会のみますの御発展と、皆様の御健勝、御活躍をお祈り申し上げます。挨拶とさせていただきます。

事務局長就任挨拶

事務局長
勝 直人

4月に全千葉県私立幼稚園連合会事務局長に就任いたしました勝でございます。よろしくお願いいたします。

私は、3月まで県庁に努めており、最後の所属は文書館でした。あまり馴染みのない機関ではありましたが、歴史的公文書や県内各地から収集された古文書などの保存・管理・公開を行ってまいりました。

なお、経歴で一番長いのは総務部関係で文書館も含め通算で15年になります。その他は教育委員会7年、県土整備部6年などです。

特に、在職中はどの部署でも他の部署との調整を行う役割を主に担ってまいりました。

幼稚園を含む私学関係の業務との関わりはあまりあ

りませんでした。在職中に培った人脈などを、今後の業務に役立ててまいります。

現在、幼児教育を取り巻く環境は、少子化の進行や保育ニーズの多様化、ICTの活用、安全対策の高度化など、大きな変化の中にあると思われます。幼稚園は、こうした変化の中でも子供たちが自分らしく成長し、豊かな心を育む場であることは変わりません。

幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な時期であり、幼稚園における豊かな学びや経験は、子供たちの将来に多くの影響を与えるものであると考えております。

また、幼稚園は子供たちの日々の成長を間近で感じられる貴重な職場であるとともに、教員の皆様にとっては非常にやりがいを感じられる職場でもあると思います。

そのような大きな役割を担われている全千葉県私立幼稚園連合会の加盟園の皆様活動を、少しでもお手伝いできるよう職員ともども努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。